



多種多様なロボットの複数同時運用を実現 マルチベンダー・ロボプラットフォーム 「ROBO-HI®」

ROBO-HI(株)

プロジェクト概要

1人の遠隔監視オペレーターが10台以上の自動運転ロボットを安全に運用できるシステムを確立することを目標としました。ロボットの公道走行について、2023年4月に改正道路交通法が施行され規制緩和が進んだ背景のもと、配達員不足を補うためのラストワンマイル・ロボット配達市場のニーズが高まると予測し、本プロジェクトでは、1人のオペレーターによる2種10台のロボット同時運行を交通量の多い東京都内の公道において実施し、データを収集・分析することに成功しました。

展示物紹介

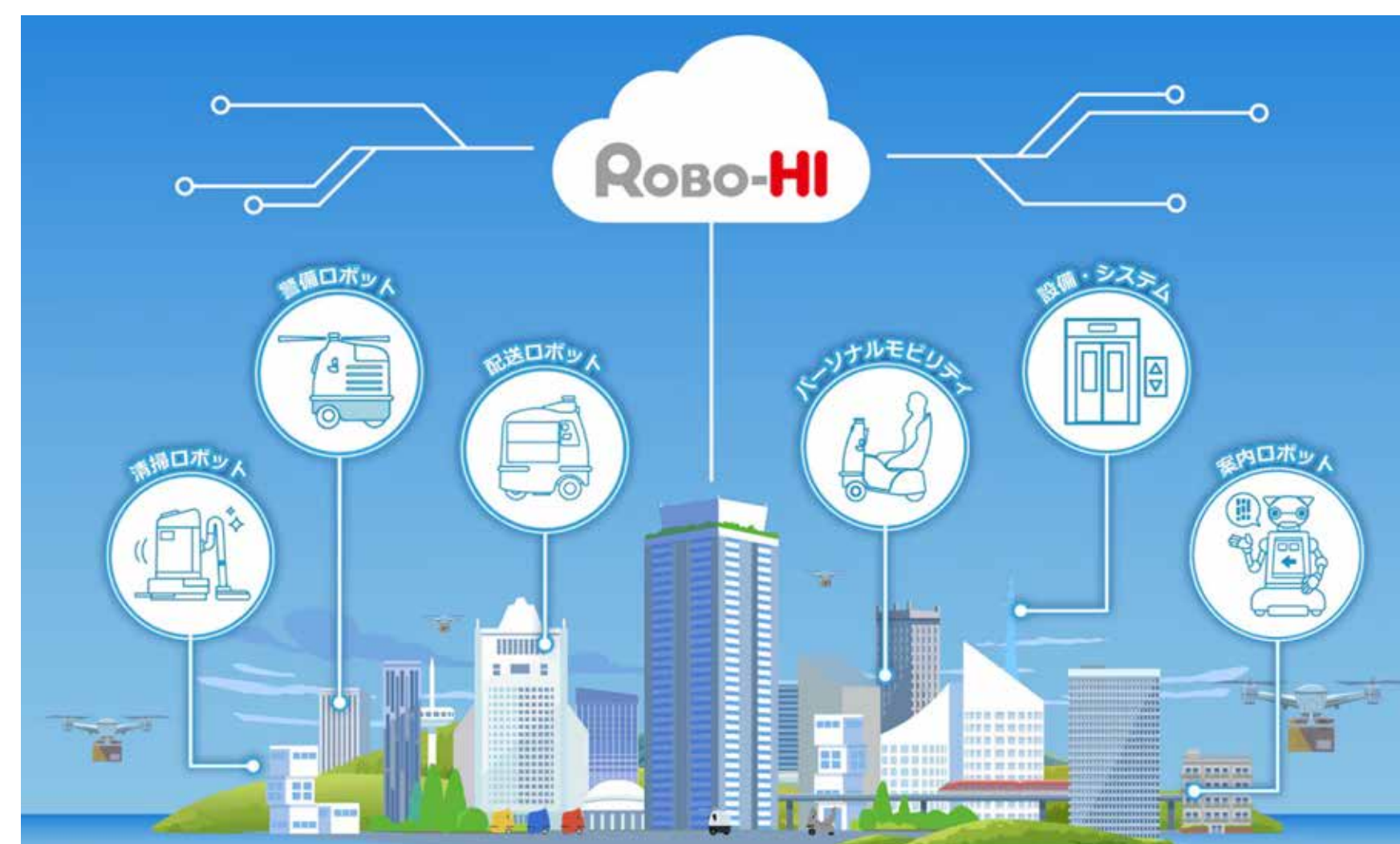
自動運転配送ロボ 「DeliRo®(デリロ®)」

4つのロッカーを備えているため、1回で最大4か所の立ち寄りが可能となり、効率的に配送ができます。また、簡便な「届出」手続きのみで公道走行でき、目や声で意思表示をするという特徴を持ちます。



マルチベンダー・ロボプラットフォーム 「ROBO-HI®(ロボハイ®)」

他社製品含む多種多様なロボをクラウド上で統合管理するシステムです。ロボ同士の渋滞を防ぎ、また、群制御ができるだけでなくエレベーターなどの外部機器連携も可能です。多数のロボの同時運用もオペレートできます。



社会実装イメージ

「長崎スタジアムシティで実装・稼働中」 DeliRo®(デリロ®)／ROBO-HI®(ロボハイ®)

2024年に開業した長崎スタジアムシティにおいて、サッカースタジアム上空を滑走する「ジップライン」の装具を運搬するために、自動運転の「DeliRo®Truck」(牽引タイプ) およびマルチベンダー・ロボプラットフォーム「ROBO-HI®(ロボハイ®)」を実装しました。ジップライン運行日に自動運転での配達を実施中です。



プロジェクト実施期間

2022年度～2024年度

NEDOプロジェクト名

革新的ロボット研究開発基盤構築事業／自動配送ロボットによる配達サービスの実現／自動宅配ロボットの複数台同時配送を実現する遠隔管理システムの確立と安全性の実証

お問い合わせ先

ROBO-HI株式会社

HP: <https://www.rob-hi.jp/> お問い合わせフォーム: <https://www.rob-hi.jp/contact/inquiry>

